

NPO 法人昭和のくらし博物館設立のお知らせ

いつも昭和のくらし博物館を支えてくださりまして、誠にありがとうございます。今年度より当館は、特定非営利活動法人(NPO 法人)昭和のくらし博物館として活動を始めることとなりましたのでお知らせ申し上げます。

当館は、1999年に小泉和子館長が私費を投じて自宅を博物館として立ち上げ、多くの方に支えていただいて、今年で19年目となります。2002年には本館として公開している小泉家住宅が国の登録有形文化財の指定を受けました。くらしの細部を掘り下げる企画展示や書籍の発行、特別展、講座、その他様々な社会教育活動などが認められ、多くのメディアで取り上げられた他、年間5000人を超える来館者を国の内外より迎えることとなり、おかげさまで多くの感謝や支持の言葉をいただいております。

東日本大震災や様々な社会問題を機にくらし方の見直しを真剣に考える人が増えた反面、くらしの大切さを体感して伝える建物や人は年々減少していくという現実の中で、博物館の存在意義は高まる一方です。これまで積み重ねてきた活動を、社会的にもしっかりとした基盤を持って次の世代でもこの活動を引き継ぎたいとの思いから方法を模索し、NPO 法人を設立することいたしました。昨年度より有識者を迎えて理事会を重ね、2018年1月に特定非営利活動法人としての認証が下りました。小泉和子が理事長として引き続き館長を務め、現職員が事務局として運営に当たります。NPO 法人とは、大勢の方の支援の気持ちを集め、維持、運営していく団体です。現協力会員の皆様におかれましては、引き続き活動へのご支援を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

来年は開館20周年を迎えます。この節目の年に「家を残し くらしを伝え 思想を育てる」という考えをしっかりと受け継ぎながら、新しい活動も目指していきたいと思っております。気持ちの安らぐ空間を保存し、多くの人や知恵が集まる博物館でありつづけられますよう、どうぞこれからもご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

2018年6月

NPO 法人昭和のくらし博物館
事務局長 小林こずえ